

# 海外語学研修機関の現地調査報告

## － 米国フロリダ州セントラルフロリダ地区 －

小松 正明\*

### Report of the Survey for the Institute of Foreign Language

#### - District of Central Florida, State of Florida, USA -

Masaaki KOMATSU

**Abstract** – National Institute of Technology, Kushiro College has established the new English training program on April, 2015. After this decision, we decided to discontinue the existing English training program which is managed by Tomakomai College and collaborated by other two Colleges in Hokkaido and performs at Eastern Institute of Technology in New Zealand. We have surveyed for the candidate of the Institute of Foreign Language in the district of central Florida, state of Florida, USA and we has decided to send the students to the Florida Institute of Technology from 2015. This paper reports the result and evaluation for the Survey for the Institute of Foreign Language.

**Key words:** English training program, Institute of foreign language, Florida, Central Florida, Florida Institute of Technology, Survey for the institute of Foreign Language

#### 1. はじめに

釧路工業高等専門学校（以下「釧路高専」という。）では、創立30周年を記念した募金事業を基に、平成8年に「教育研究・国際交流基金事業」がスタートした。この基金によりその後は毎年、教員の学術研究の推進、産学官連携事業、学生の海外語学研修などに活用されている。

このうち、海外語学研修は、本校と学術交流協定を締結していたオーストラリアのビクトリア工科大学に、隔年で海外語学研修派遣を実施していたが、交流協定の更新は行われず、平成22年で協定が切れ、新たな語学研修先の検討を開始した。平成24年からは、苫小牧高専を幹事校とした道内4高専連携事業として、ニュージーランドのイースタン工科大学(EIT, Eastern Institute of Technology)の語学研修センターに派遣先を変えた。

この間、平成23年から継続して国際交流委員会、組織変更後の国際交流室において、語学研修のあり方について検討・審議を重ね、平成27年からはニュージー

ランド語学研修については募集を中止することを決定した。募集中止を決定した大きな理由は、1) 国際交流基金が逼迫しており、基金支出を手厚い語学研修支援から協定大学への短期留学支援にシフトする必要があること、2) 現在のニュージーランド語学研修が団体研修旅行になっており、緩い語学研修プログラムになってしまっていること、3) 対象学年が本科3年に限定されていること、などである。今後は、海外語学研修は、本校の国際交流事業の位置づけから外し、学生個人の自己研鑽の機会として位置づけ、海外語学研修を「派遣」から研修先の「斡旋」に切り替えることとした。

そこで、海外語学研修を希望する学生のため、海外語学研修先の斡旋を行う必要性が生じた。語学研修の派遣先としては、これまでの検討の中で出ていた米国東海岸とし、米国フロリダ州セントラルフロリダを拠点とした語学研修先の現地調査を、現地会社JFG

(Japan Florida Group) の支援を受けて平成27年3月に実施した。この現地調査結果を国際交流室で審議し、

\* 釧路高専電気工学科

研修幹旋先を「フロリダ工科大学」(FIT, Florida Institute of Technology)の語学研修センター(ELS)に決定した。

本稿では、米国フロリダ州セントラルフロリダを拠点とした語学研修先の現地調査結果について報告するものである。

## 2. 現地調査方針と訪問先

今回の現地調査は、平成23年(2011年)から開始していた新規海外語学研修機関の開拓検討に基づき、またニュージーランド語学研修からの反映事項に基づき、以下の方針で語学研修機関の調査を実施した。

- (1) 大学付置語学研修機関であること。(堅実性、留学への拡張性)
- (2) 個人登録ができ、原則、引率教員を必要としないこと。
- (3) 安全性、気候、土日の課外授業の充実性。

これまでの検討結果から、アメリカ東海岸、フロリダ州セントラルフロリダに絞って、以下の大学等を訪問し、現地調査を実施した。(平成27年3月23日～3月26日)

- a) University of Central Florida
- b) Eckerd College
- c) Florida Institute of Technology

- d) Valencia College
- e) Faith Christian Academy
- f) Seminole State College of Florida

## 3. 現地調査概要

### 3. 1 訪問先 1 : University of Central Florida (UCF), Center for Multilingual Multicultural Studies <http://www.ucf.edu/>

(1) 訪問日時：3月23日(月) 10:30～13:00

(2) 面会対応者；

-Assistant Director; Ms. Laura E. Monroe

-Instructor; Ms. Monica Fishkin

-Director; Ms. Diana Vreeland

-Associate Director, International Service Center; Mr. Mark Hartman

-CollegiatevillageInn, Customer Service Manager; Ms. Donna Ferguson

#### 【大学の概要】

- 現在、UCFは全米で2位にランキングされる優秀な総合大学で、2年前に医学部を設立したことで、ますますの成長を遂げている。学生数も多く、キャンパスは大変賑やかである。
- 広大なキャンパスにはUCFのシャトルバスが常時巡回し、移動が可能。広大な学生専用駐車場があるが、広すぎて学生は教室へのアクセスが大変である。

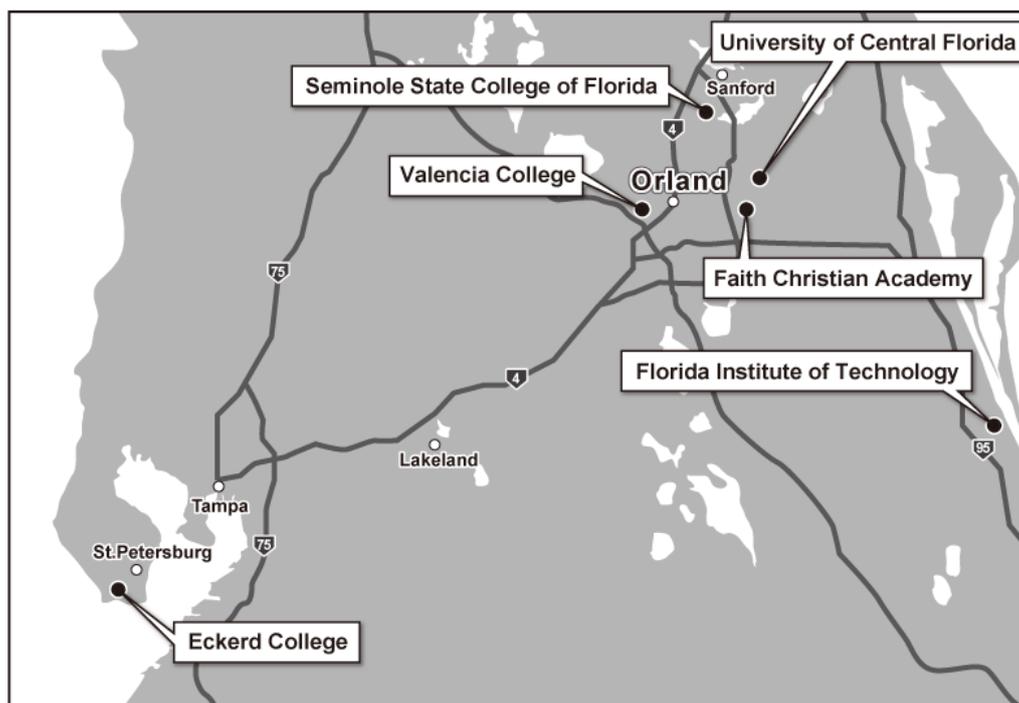


図1 セントラルフロリダの現地調査・訪問大学位置

- UCFには大学が設立した専用のPolice Officeがあり、約40名の警察官が常駐し、キャンパス内の警備を行っている。
- 語学研修の学生出身国は35カ国に亘り、最大はサウジアラビア系が70%でアジア系は15%。このようになったのは2012年以降、サウジアラビア系政府が多額の奨学金を出すようになったことが原因。語学研修の教室にサウジアラビア系の学生が70%を占めるのはバランスから言ってよくない。日本人学生は大変少ない。
- UCFは州立大学であるが、首都ゲインズビルにあるフロリダ州立大学を抜いて成長を続けている。予算は潤沢にあるようで、大学関係者の鼻息も荒い。企業の寄付が占める割合も大きい。寄付で成長する大学は日本では考えられない。

#### <語学研修所打合せ概要>

- 1) International student は約300名に対して専任教員約30名、UCF学生数6万人に対してかなりコンパクトな語学研修所である。
- 2) 1年は3セメスター（秋、春、夏）制で、1セメスターをセッション1, 2に分割。1セッションは7週で区切り。1セッションは5クラスに分割している。(Grammar, Reading, Writing, Listening, Speaking)。レベルは、Beginning, Intermediate, High-Intermediate, Advancedに分類される。
- 3) 日本人学生用には4週間のプログラム化が可能。2015年度であれば、以下のスケジュール。  
8月19日(金); オリエンテーション, 英語クラス分けテスト  
8月24日(月)~9月18日(金); 4週間の英語研修実施  
授業料は7週で、\$1,675、これに健康管理費などの諸経費が約\$240かかる。

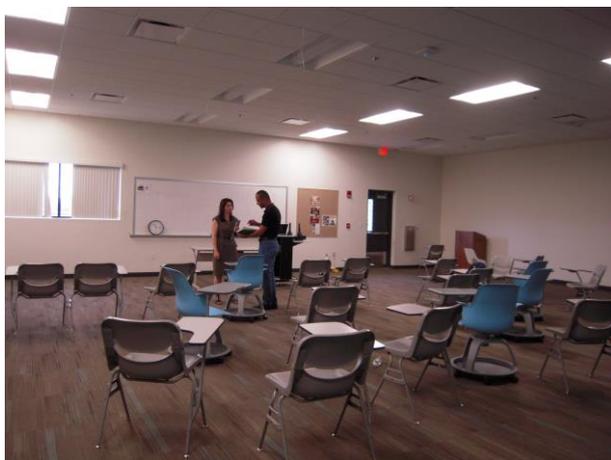


写真1 UCFの語学研修教室

- 4) UCFの語学研修は滞在期間に関係なく、学生ビザ(F-1)が必要であり、VISA Waiver のプログラムを持っていない。ビザは申請してから交付まで最低でも4週間必要。書類の準備期間を入れると3ヶ月前から手続きを始めたほうが良い。
- 5) 受講申込、ビザ手続はWebで行う。
- 6) 本日は部長が不在、2週間後に戻るので、プログラムの詳細な話はそれ以降でないとできない。
- 7) キャンパスに隣接する学生用宿舎を見学した。二人部屋で食事つきで1日\$30、デポジットが\$150。語学研修所には歩いていける距離。

### 3. 2 訪問先2 ; Eckerd College, ELS Language

Centers <http://www.eckerd.edu/>

(1)訪問日時：3月24日(火) 14:00~15:00

(2)面会対応者；

-Academic Director; Ms. Lura Lubin

-Center Director; Ms. Karen H. Grubbs

#### 【大学の概要】

- 海洋科学、国際ビジネス、経営学などの自然科学系、人文科学系の私立単科大学で、リゾート地として知られるセントピーターズバーグ（フロリダ半島西海岸）に立地し、白砂のプライベートビーチとうっそうとした森をキャンパス内に持ち、開放的な大学である。
- 学生数は約2,000名程度、キャンパスもコンパクトで、海洋レジャー施設が整っている。

#### <語学研修所打合せ概要>

- 1) 大学に入学する海外学生用の語学研修プログラムは、ELS (ELS Educational Service, Inc. 本社プリンストン, NJ) にアウトソーシングしている。ELSは北米東海岸から内陸地区にかけて、



写真2 Eckerd Collegeのプライベートビーチ

約60大学に語学研修センター(ELS)を展開，設置している。 <http://www.els.edu/ja>

- 2) ELSの語学研修のシステムは基本的にはどこも同じであるが，目的の一つが，その大学に進学する海外学生に，その大学の授業についていける十分な英語力を養成することである。語学研修プログラムにはビザなし(VISA Waiver) で可能なプログラムがある。Eckerd College に来てから研修時間を追加する「アップグレード」も可能。
- 3) 1クラスは最大15人，ELS全体の受入枠最大が200人。8月は70~100人位が在籍する。クラス(授業)は午前4クラス，午後2クラス，1週間で18時間未満がいわゆる「一般語学研修 (general student)」で，1日4時間を超えて1週18時間を超えるとビザが必要な「進学コース(academic student)」になる。(表1参照)
- 4) ELSのレベルは1年で12レベル(year program)に分けられており，1レベルが4週間で構成される。交渉では3週間プログラムも受入可能とのことであった。
- 5) 4週間プログラムの授業料を表2に示す。3週間プログラムはこれより若干下がる見込み。派遣プログラムは表中の5) American Explorer で入国し，希望により授業時間数を追加することができる。
- 6) 宿泊はキャンパス内学生寮，ホームステイを選択可能。寮は女子学生のみ。表1に4週間プログラムの内容を示す。
- 7) Eckerd College は，トロピカルリゾートに立地することから，1週15時間以下の特別プログラム (American Culture Program(ACP) と呼ばれるサマーキャンププログラム) を準備しており，日本人中学生の海外研修プログラムなどに活用されている。
- 8) 2015年夏のプログラム日程  
8月24日(月)：初日，登録，Placement Testでレベル分け，オリエンテーション  
8月25日(火)：クラススタート  
9月11日(金)：クラス終了 (3週間プログラム)  
9月17日(金)：クラス終了 (4週間プログラム)

### 3. 3 訪問先3 ; Florida Institute of Technology (FIT), ELS Language Center

<http://www.fit.edu/>

(1)訪問日時：3月25日(水) 10:30~14:00

(2)面会对応者；

-Academic Director: Mr. Michael A Hensley

-Center Director: Betty Jean Humpherys

-Manager, Office of External Relations, FIT:

Ms. Mary Dyer

-Senior Vice President, Office of External

Relations, FIT: Winston E. Scoot (元宇宙飛行士)

【大学の概要】

- 理工学系の私立大学で，海洋学部，航空工学部が有名である。工学系，理学系からビジネス，芸術系まで学部数が多く，充実している。メインキャンパスはNASA/KSCがあるケープカナベラルから車で30分程度南下したメルボーンにある。
- オフキャンパスはNASAや空軍基地内などにもあり，NASA職員，Boeing職員，軍人なども一般の学生と一緒に大学院で学んでいる。学生数は6,000名程度。
- 卒業生には宇宙飛行士もおり，また最近はNASAをリタイアした宇宙飛行士4名がFITの教員，スタッフとして働いており，NASAとの研究・教育の連携も進んでいる。
- フロリダに本社を置くHarris社 (<http://harris.com/>) との間で密接な関係にあり，FITのキャンパスにはHarris社の寄付による施設が多く点在する。



写真3 FIT語学研修センター

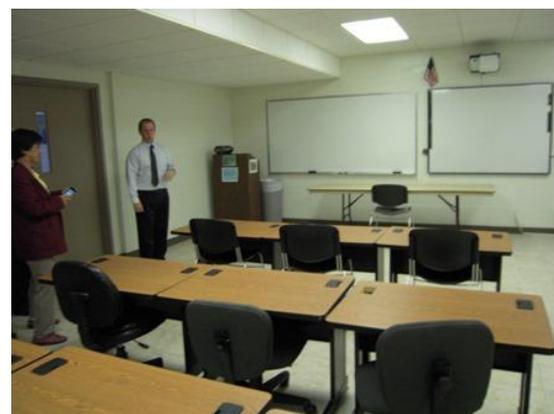


写真4 ELS教室の様子

<語学研修所打合せ概要>

- 1) Eckerd College と同様に、ELSに英語研修をアウトソーシングしている。
- 2) 今回の訪問では、このELSのDirector の他、FIT 大学側のスタッフも同席し、FITのInternational Student に対する語学研修の考え方に沿って話を聞くことができ、他の大学訪問ではなかった対応であった。これらのことから、海外からの学生を大切に扱うFITの文化が伺えた。
- 3) 訪問時は日本から北里大学の学生14名が1カ月の語学研修で滞在中であり、このほかにも芝浦工業大学からの学生を受け入れている。FITのELS Director, Michael は筑波大学で学んだことがあり、日本に14年間滞在した経験を持っている。
- 4) ELSの語学研修のシステムは基本的にはどこも同じであるが、目的の一つが、その大学に進学する海外学生に、その大学の授業についていける十分な英語力を養成することである。FITはその語学研修部門をアウトソーシングしているとは言え、全く外部委託しているというわけではなく、大学の一部分として機能するよう、一体となって運営している様子が見える。
- 5) 語学研修はビザなし(VISA Waiver) で可能。FIT に来てから研修時間を追加する「アップグレード」も可能。
- 6) 1クラスは最大15人、ELS全体の受入枠最大が250人。授業は1日3時間、1週間で18時間未満がいわゆる「一般語学研修 (general student)」で、1日4時間を超えて1週18時間を超えるとビザが必要な「進学コース(academic student)」になる。
- 7) ELSのレベルは1年で12レベル(year program)に分けられており、1レベルが4週間で構成される。交渉では3週間プログラムも受入可能とのことであった。
- 8) 4週間プログラムの授業料を下表に示す。3週間プログラムはこれより若干下がる見込み。派遣プログラムは表3中の4) American Explorer で入国後、希望により授業時間数を追加することができる。
- 9) 宿泊はキャンパス内学生寮、ホームステイを選択可能。表4に4週間プログラムの料金を示す。
- 10) 2015年夏のプログラム日程  
8月24日(月)：初日、Placement Testにレベル分け、オリエンテーション、キャンパスツアー  
8月25日(火)：クラススタート  
9月11日(金)：クラス終了 (3週間プログラム)

9月18日(金)：クラス終了 (4週間プログラム)

3. 4 訪問先4 ; Valencia College, International Program Development <http://valenciacollege.edu/>

(1)訪問日時：3月25日(水) 16:30~17:30

(2)面会対応者；

-Manager, International Program Development:  
Ms. Andrea Houser

【大学の概要】

- オーランドにある地元の「コミュニティカレッジ」で、全米コミュニティカレッジとしては経営評価等が上位で、オバマ大統領が視察に来たことでも有名、施設が新しく、キャンパスが整っている。
- 地元住民、子弟、就労者が格安で学べる学校で、夜間のコースもある。
- 2年制で卒業後は大学3年に編入学する学生が多い。UCFなどで4年間学ぶのは学費が高いため、多くの学生は地元のコミュニティカレッジで2年間学び、その後大学に進学する学生が多い。コンピュータ系の4年制コースも併設されている。
- コミュニティカレッジにあるELSの性格は、海外学生の育成のほか、既に移民等で在住している非英語圏の住民の英語教育機関としての性格も持っており、夜間開講している。

<語学研修所打合せ概要>

- 1) 海外学生用のコースとしては、Intensive English Program があり、1コースが2週、9レベルで、1週18時間、F-1ビザが必要。(ビザなしのコースは夕方開講の1週4時間、1コース8週で、地元住民コースと思われる) 1クラス最大16名まで、16教室あり、260人まで受入可。教員数25名。
- 2) カレッジには寮はない。州、カウンティの方針(ポリシー)である。Homestayの斡旋もしない。



写真5 Valencia College, キャンパス

表1 Eckerd College, ELS Language Centers 4週間プログラム

プログラム	クラス/1週	授業料	ビザ	その他
1) English for Academic Purpose	30	\$1,790	必要	
2) General English	30	\$1,680	必要	
3) Semi-Intensive English Program	20	\$1,410	必要	
4) Business English	30	\$1,680	必要	
5) American Explore	15	\$1,350	不要	入国後に授業時間を追加するアップグレードが可能

表2 Eckerd College, ELS Language Centers プログラム諸経費

	キャンパス内学生寮	Homestay
年齢	17歳以上	14歳以上
宿泊費 (4 Week course)	\$1,425 (1週19食付)	\$1,140 (1週14食付)
Airport Pick Up	不明	
Application Fee	\$165	
Housing Deposit	\$200	
Insurance	\$150	
Materials & Technology Fee	\$85	

表3 Florida Institute of Technology, ELS Language Centers 4週間プログラム

プログラム	授業数/1週		授業料	ビザ	備考
1) English for Academic Purpose	30		\$1,790	必要	
2) General English	30		\$1,680	必要	
3) Semi-intensive English program	20		\$1,410	必要	
4) American Explorer	15		\$1,350	不要	入国後に授業追加可能

表4 Florida Institute of Technology, ELS Language Centers プログラム諸経費

	キャンパス内学生寮	Homestay
年齢	18歳以上	14歳以上
宿泊費 (4 Week course)	\$1,370 (1週19食付)	\$955 (1週14食付)
Airport Pick Up	\$165	
Application Fee	\$165	
Housing Deposit	\$200	
Insurance	\$150	
Materials & Technology Fee	\$85	

- 3) 語学研修機関としての候補としては可能性が薄いと判断し、時間数、ビサの必要性については詳細な調整はしなかったが、今夏のプログラムを組む場合のスケジュールは以下のとおり、2週間プログラムを2回、計4週間コースとなる。2週間コースの授業料は\$400と安い。

8月24日(月) : Placement Test

8月25日(火)~9月4日(金) : 2週間

9月8日(火)~9月18日(金) : 2週間

- 4) その他, Valencia College では近郊のディズニーワールドで就業体験をしながらカレッジで Academic Courseなどを選択して学ぶ6か月留学コースのプログラムを持っており、日本人がよく利用しているようである。(J-1 プログラムでビサが必要)

### 3. 5 訪問先 5 ; Faith Christian Academy

<http://www.fca-schools.org/>

(1)訪問日時 : 3月26日(木) 10:30~12:00

(2)面会対応者 ;

-Administrator (学園長): Andrew E. Rumbaugh

【学校の概要】

- オーランド市内にある、キリスト教教義に基づく小中高一貫教育の私立学園。  
生徒数は2011年統計で990名(訪問時は600名との説明であった)、これに併設された幼稚園 (Kindergarten School) も同じ施設内で運営されている。
- 校内は大規模な教会兼シアター(5,000名収容との説明)の周りにクラスルームを配し、この教会で生徒は金曜日、周辺住民は日曜日に礼拝をおこなっている。
- 外部からのアクセスは1か所のみで、侵入ができないようセキュリティが非常に高い。



写真6 学園長のAndrew氏と筆者

- 私立であることから制服があり、高収入の保護者が多いことから寄付も多く、教育への関心も高く、教育環境が非常に良い。
- Prep. School と標記するように、生徒のほとんどが大学進学を目指している。
- 中学にはInternational Student が数名在籍し、英語の特別クラスを設けている。
- 日本人高校生を短期で受け入れた経験を持つ。

<学園での打合せ概要>

- 1) 学園長のAndrew氏と、高校生レベルの学生派遣、受入の交流事業の可能性について意見交換を行った。学園はInternational student の積極的な受入を行っており、海外学生の受入には理解がある。
- 2) 中国の学校との交流が盛んである様子。交流は中国政府を介してではなくAgent を介して行っているとの説明。中国との交流についてはこれ以上の質問をこちらからはしなかった。
- 3) 海外学生受入プログラムは年単位の通常プログラムはあるが、短期プログラムで企画されたものはない。短期受入については都度の相談になり、期間、条件を示したうえでの特別受入プログラムになる。
- 4) 小松からは、日本の文科省が推進する奨学金制度「トビタテ!留学Japan」が高校生まで拡張されているが、高校生自ら受入学校を探すのは困難であり、希望者がいた場合の受入校になってもらえれば幸い、との話をした。
- 5) 短期受入から実現し、将来的には交換交流などの可能性も含め、今後も連絡を取ることとした。

### 3. 6 訪問先 6 ; Seminole State College of Florida,

<https://www.seminolestate.edu/>

(1)訪問日時 : 3月26日(木) 13:00~14:30

(2)面会対応者 ;

-Assistant Director: Angela Adame-Smith

-Instructor: Myrna Creasman

【大学の概要】

- Orlandoから少し北に位置するSanfordにあるコミュニティカレッジ。2年制のカレッジに4年制コースが5つ併設されている。
- UCF進学の直進コースがあり、UCFと共同運営する教育施設が併設されている。



写真7 Seminole State Collegeスタッフと筆者

#### <語学研修所打合せ概要>

- 1) ここでは大学のELS担当者とは直接のコンタクトがなく、InstructorのMs. Myrna(元UCFのELS Director)を介して内容紹介を受けた。
- 2) 海外学生用には、週18時間から20時間の基礎から上級まで5レベルのコースがあり、1レベル15週で構成され、1レベルの授業料は\$2,800。F-1ビザが必要。
- 3) カレッジには寮はない。州、カウンティの方針(ポリシー)である。Homestayの斡旋もしない。
- 4) 語学研修機関としての候補としては可能性が薄いと判断し、詳細なプログラムの調整はしなかった。
- 5) Ms. Myrnaは、"Elite School of Language"という英語研修プログラムを私的に運営、UCFのキャンパス、教室を活用して語学研修プログラムを提供している。コミュニティカレッジとUCFの隙間を埋めるプログラムを提供している。

#### 4. 語学研修機関比較と派遣大学の決定

これまでの現地調査結果から、各大学等が持つ語学研修プログラムの比較を表5に示す。

表5 各大学語学研修プログラムの比較

大学等	語学研修所		住居			短期プログラム	ビザ	環境	総合評価
	独自	ELS	寮	Homestay	学外AP				
UCF	○		×	×	○	4週間	要	△	×
Eckerd		○	○	○	○	3週, 4週	不	○	○
FIT		○	○	○	○	3週, 4週	不	○	◎
Valencia	○		×	×	○	4週	要	△	×
FCA	○		×	○	×	調整	要	△	対象外
Seminole	○		×	×	○	不明	要	△	×

フロリダ州のセントラルフロリダは、オーランドを中心にディズニーやユニバーサルスタジオ、水族館などの一大アトラクションエリアを抱えて、観光都市、商業都市として繁栄している。また、東海岸のケープカナベラルにはNASAケネディ宇宙センターがあり、宇宙開発の最前線としてフロリダの大学、企業との共同研究開発、教育支援などの連携が進んでいる。

これらの環境に置かれた大学等を現地調査した結果、フロリダ工科大学(FIT: Florida Institute of Technology)が総合評価において一番評価点が高くなった。従って、平成27年度における海外語学研修先の斡旋については、このフロリダ工科大学に決定した。

#### 5. おわりに

斡旋大学決定後、平成27年夏の語学研修の募集を行った。プログラムの特徴は、研修先をアメリカに変更したことばかりではなく、募集対象を本科全学年、専攻科1、2年と全学生を対象としたことである。

何件かの問合せがあったものの、最終的には4年電子工学科女子学生1名が渡航を決め、3週間の語学研修をフロリダ工科大学で行った。1名ではあったが、渡航前のガイダンスにおいて、危機管理のための「サバイバルイングリッシュ」、「異文化理解について」の説明、フロリダ特有の「ハリケーン、サンダーstorm」に対する安全教育を実施している。また、保護者同席で、語学研修内容やアメリカ渡航時、滞在での注意事項説明を2回実施し、緊急連絡網の設定を含め、渡航前のガイダンスを実施した。来年度以降も継続して本プログラムを推進していく予定である。

#### 参考資料

- [1] 小松正明:「海外語学研修機関 現地調査報告」2015年4月10日、国際交流室会議資料